

5. 高齢期の生活と高齢者介護

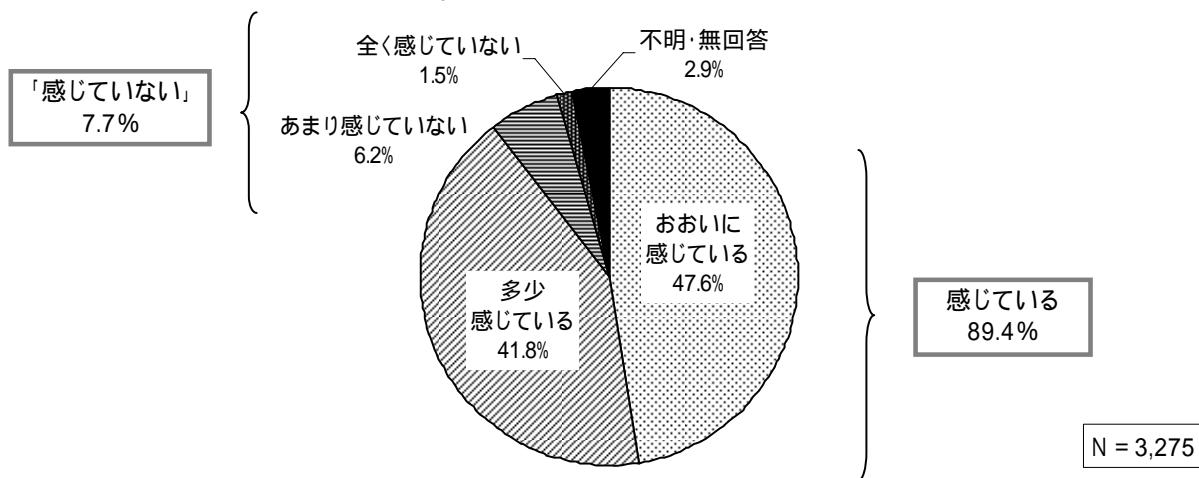
(1) 高齢期の生活不安

高齢期（概ね65歳以上）の生活への不安

問22 あなたは、自分の高齢期（概ね65歳以上）の生活に不安を感じていますか。（は1つだけ）

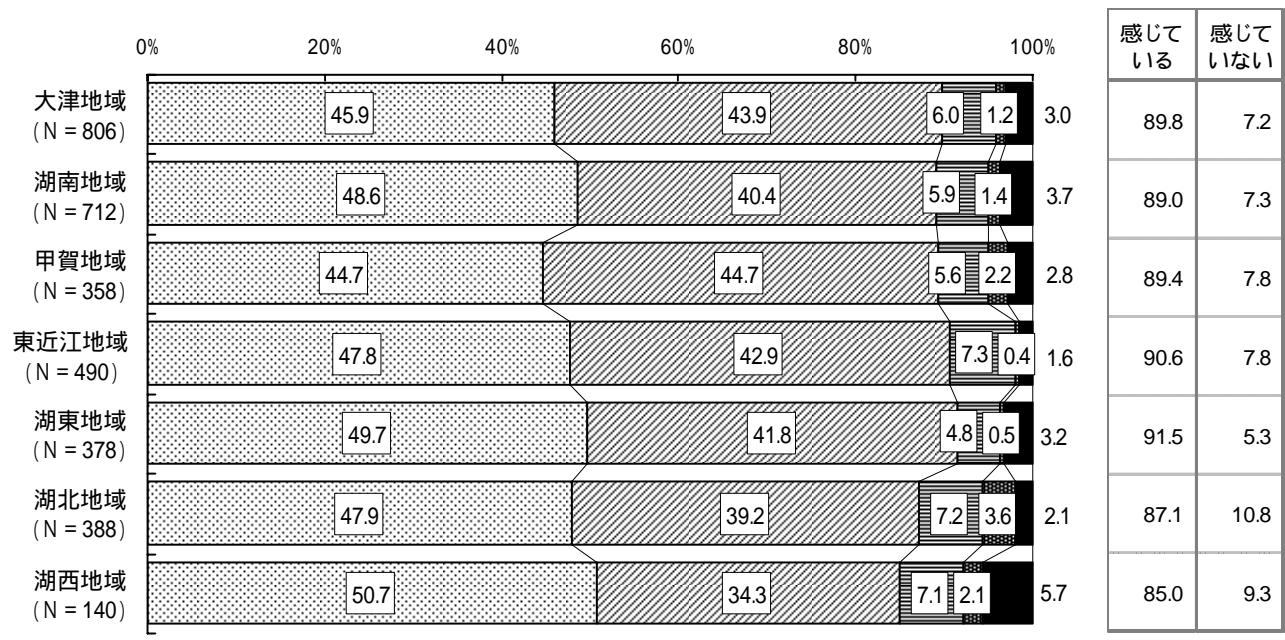
「おおいに感じている」が47.6%

「おおいに感じている」が47.6%と最も高く、次いで「多少感じている」が41.8%となっている。『感じている』（「おおいに感じている」と「多少感じている」の合計）は89.4%、『感じていない』（「あまり感じていない」と「全く感じていない」の合計）は7.7%となっており、『感じている』が9割弱を占めている。



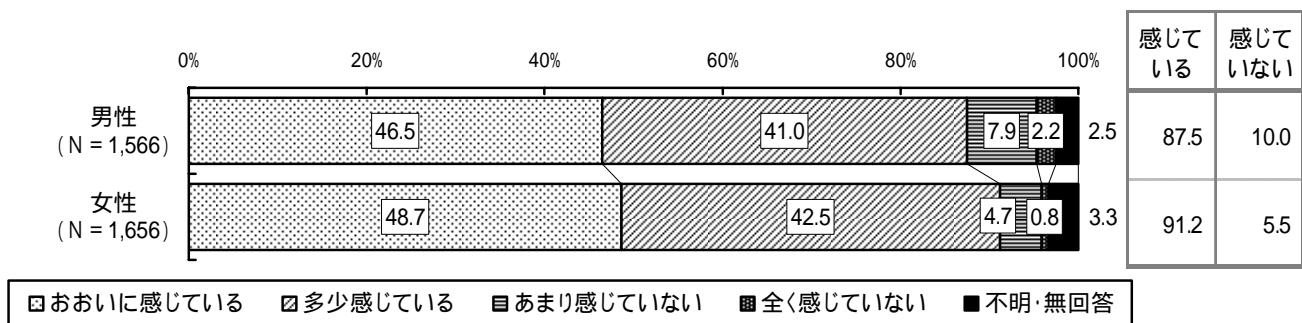
【地域別】

甲賀地域では「おおいに感じている」と「多少感じている」が同率で44.7%と最も高く、その他の地域では「おおいに感じている」が最も高く、湖西地域では半数を超えている。『感じている』は湖東・東近江地域で9割を超えている。



【性別】

男女とも「おおいに感じている」が最も高く、男性(46.5%)に比べ女性(48.7%)の方が2.2ポイント高くなっている。「多少感じている」も同様に女性の方が高くなっています。『感じている』は女性で9割を超えており。



【性・年代別】

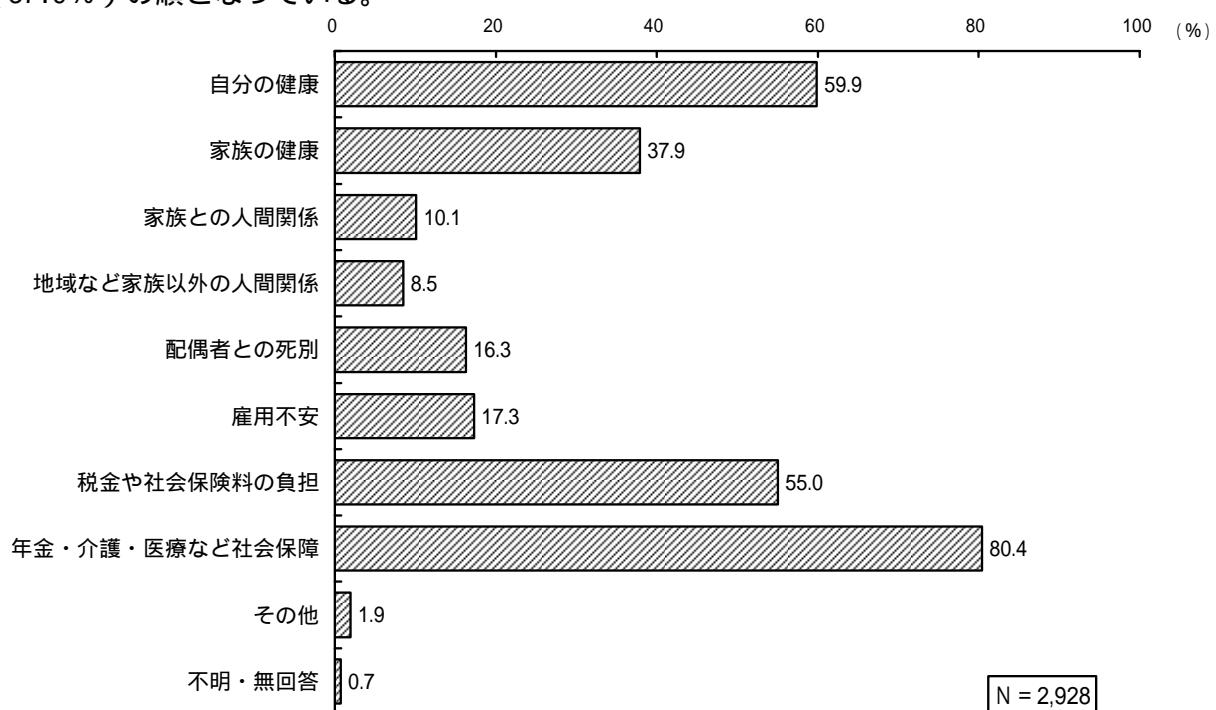
男女とも、60歳代を除くいずれの年代も「おおいに感じる」が最も高く、60歳代では「多少感じている」が最も高くなっています。『感じている』は男性の30~50歳代、女性では50歳代、70歳以上を除くいずれの年代においても9割を超えています。

高齢期(概ね65歳以上)の生活不安を感じる理由

問22-1 問22で「1 おおいに感じている」または「2 多少感じている」と回答された方におたずねします。それはどのようなことに関する不安ですか。(はいくつでも)

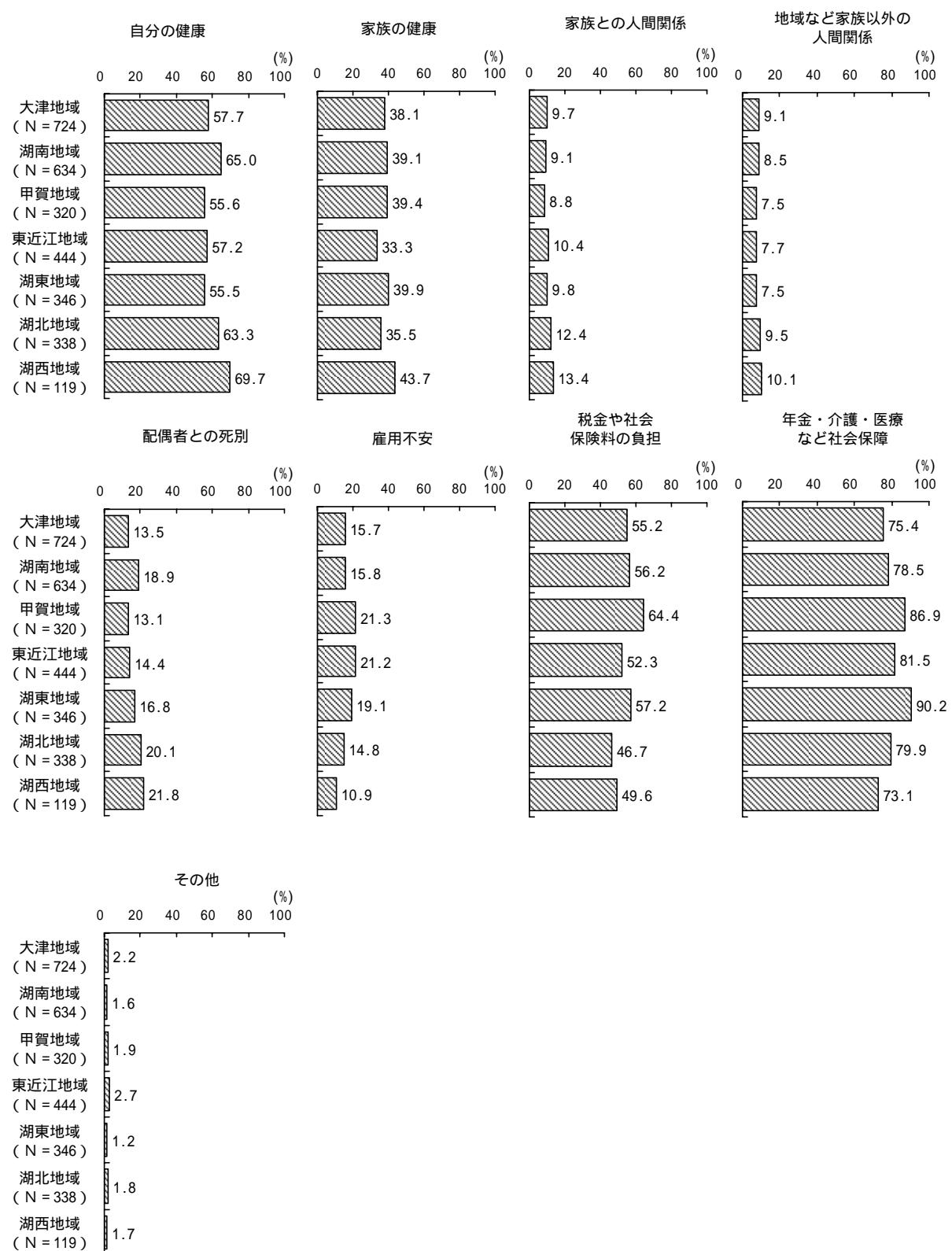
「年金・介護・医療など社会保障」が80.4%

高齢期の生活不安を感じる理由については、「年金・介護・医療など社会保障」が80.4%と最も高く、以下、「自分の健康」(59.9%)、「税金や社会保険料の負担」(55.0%)、「家族の健康」(37.9%)の順となっている。



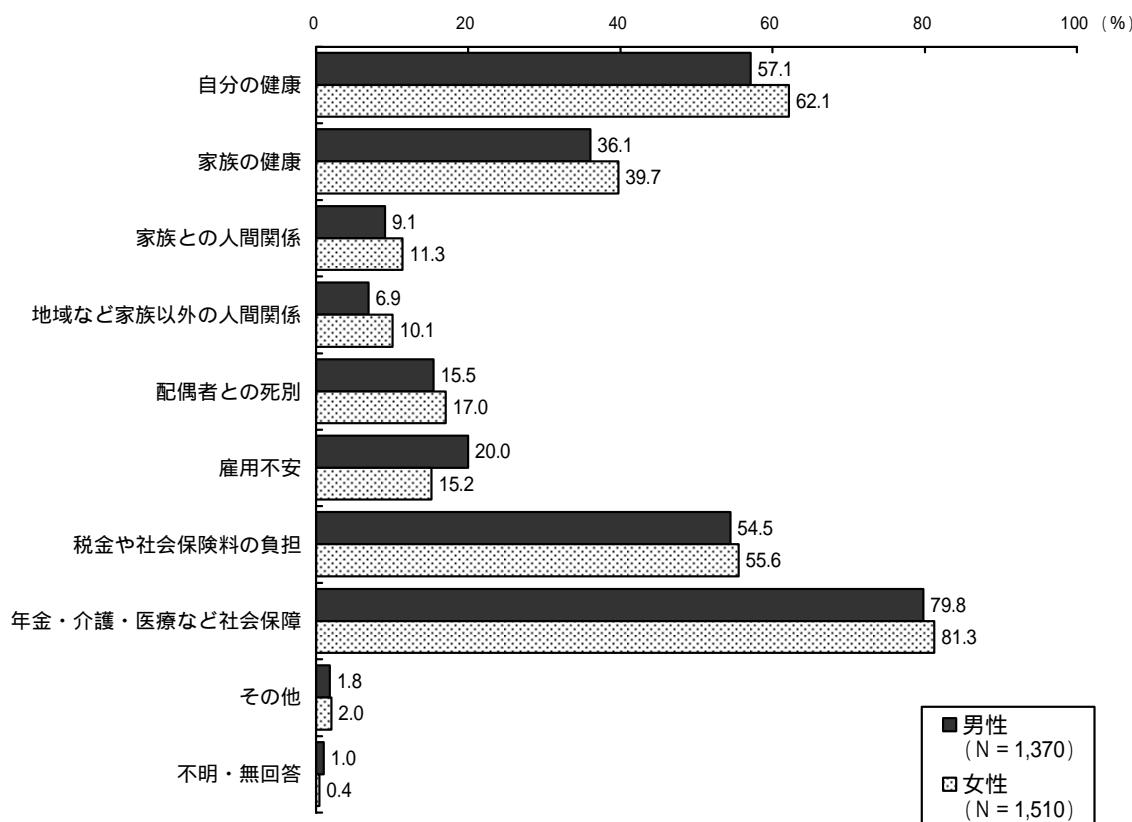
【地域別】

いずれの地域においても「年金・介護・医療など社会保障」が最も高く、湖東地域で9割を超えており。次いで、甲賀・湖東地域では「税金や社会保険料の負担」が、その他の地域では「自分の健康」が続いている。



【性別】

男女とも「年金・介護・医療など社会保障」が最も高く、男性(79.8%)に比べ女性(81.3%)の方が1.5ポイント高くなっている。次いで、「自分の健康」「税金や社会保険料の負担」の順で続いている。男女の傾向に大きな差はみられない。比較的男女差がみられる項目としては、「自分の健康」で男性(57.1%)に比べ女性(62.1%)の方が5.0ポイント高く、また、「雇用不安」で男性(20.0%)に比べ女性(15.2%)の方が4.8ポイント低くなっている。



【性・年代別】

男女とも70歳以上を除くいずれの年代においても「年金・介護・医療など社会保障」が最も高く、70歳以上では「自分の健康」が最も高い。「自分の健康」は男女とも30歳代で他の年代に比べ低く、次いで20歳代、それ以降は年代が上がるにつれ高い傾向がみられる。「年金・介護・医療など社会保障」では男女とも20歳代で最も高い。

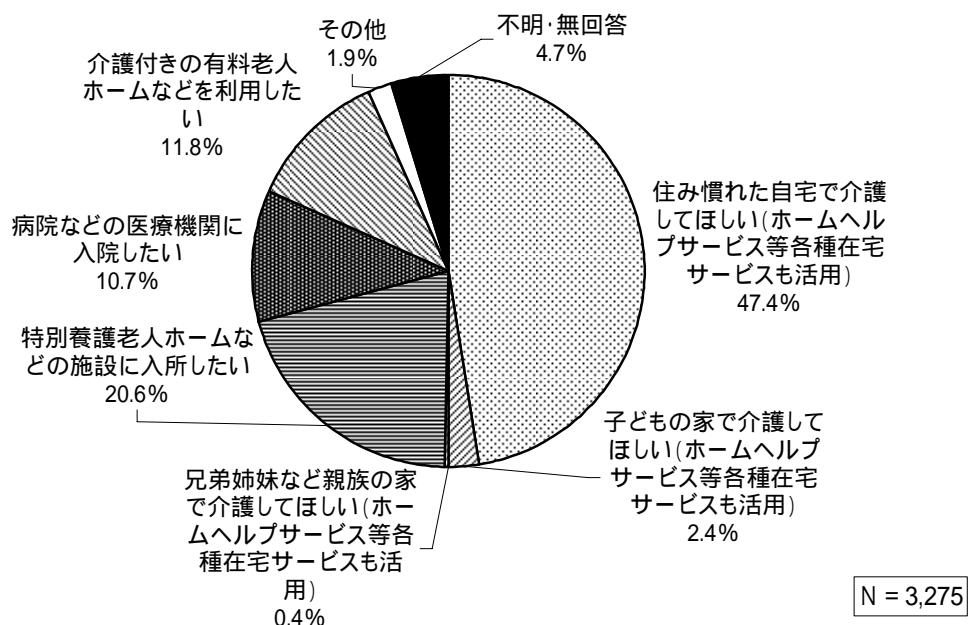
(2)高齢者介護のニーズ

介護を受けたいと思う場所

問 23 高齢期にあなたの身体が虚弱になって、日常生活を送る上で、食事や排泄等の介護が必要な状態になった場合、どこで介護を受けたいですか。（　は1つだけ）

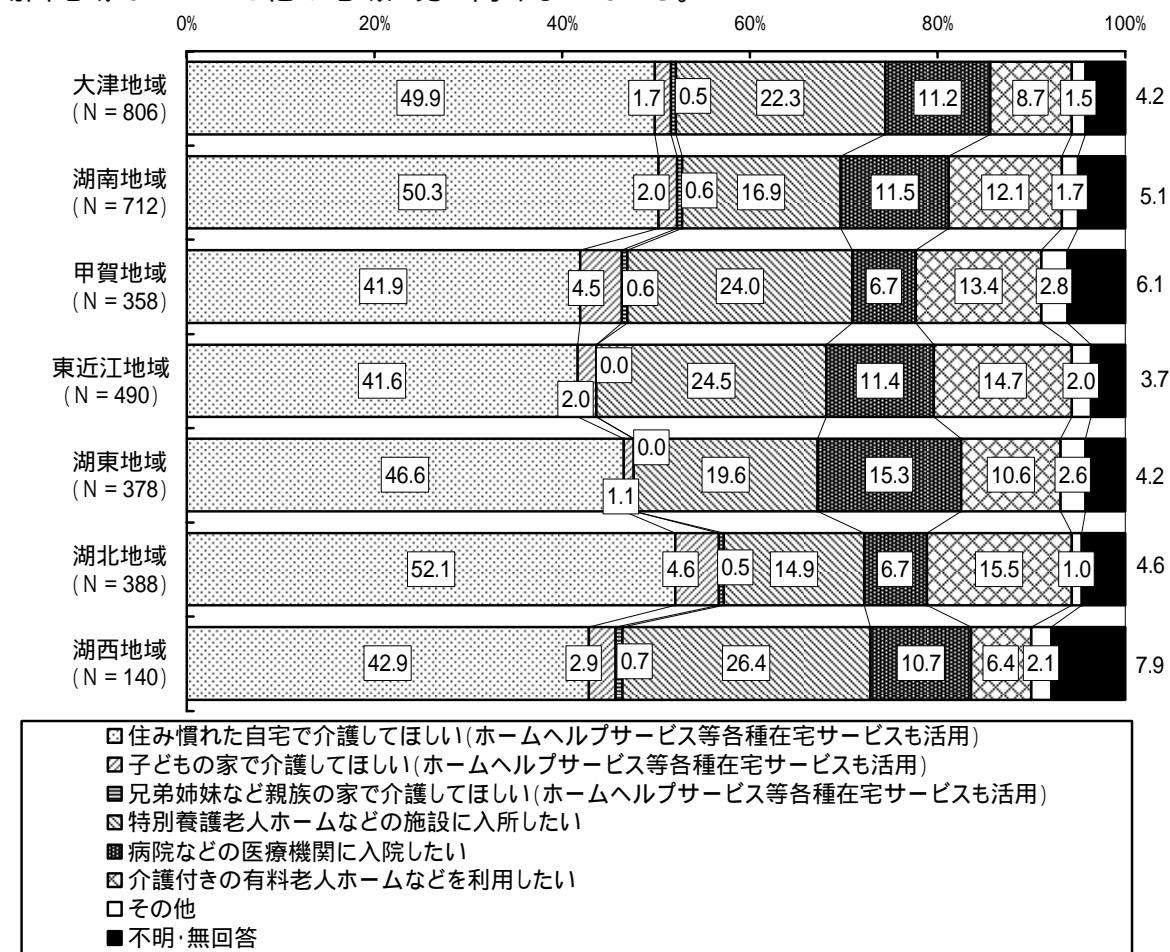
「住み慣れた自宅で介護してほしい」が 47.4%

介護を受けたいと思う場所については、「住み慣れた自宅で介護してほしい（ホームヘルプサービス等各種在宅サービスも活用）」が 47.4% と最も高く、5割弱を占めている。次いで、「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」が 20.6%、「介護付きの有料老人ホームなどを利用したい」が 11.8%、「病院などの医療機関に入院したい」が 10.7% となっている。



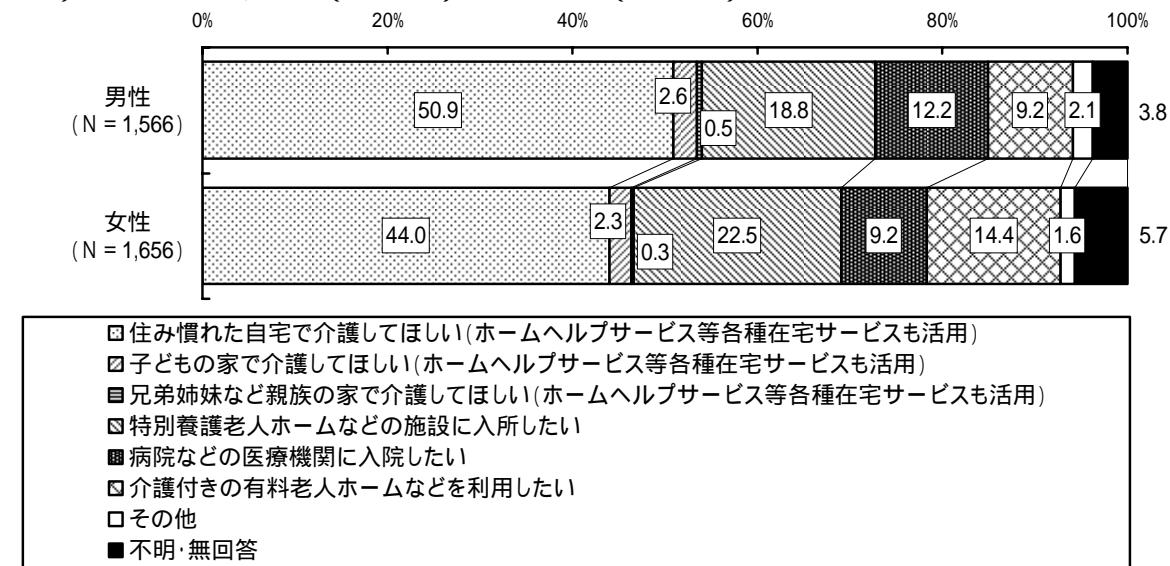
【地域別】

いずれの地域においても「住み慣れた自宅で介護してほしい（ホームヘルプサービス等各種在宅サービスも活用）」が最も高く、湖北・湖南地域では半数を超えており、次いで、いずれも「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」が続いている。地域の傾向に差はみられないが、湖西地域で26.4%と他の地域に比べ高くなっている。



【性別】

男女とも「住み慣れた自宅で介護してほしい（ホームヘルプサービス等各種在宅サービスも活用）」が最も高く、男性(50.9%)に比べ女性(44.0%)の方が6.9ポイント低くなっている。



【性・年代別】

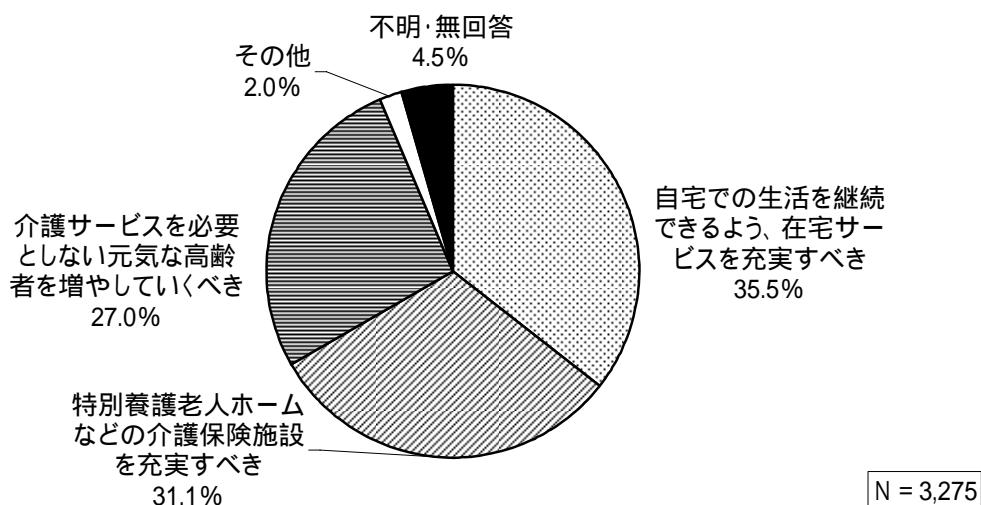
男女ともいずれの年代においても「住み慣れた自宅で介護してほしい(ホームヘルプサービス等各種在宅サービスも活用)」が最も高くなっている。次いで、男性では70歳以上は「病院などの医療機関に入院したい」が、その他の年代は「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」が続いている。女性では70歳以上は「病院などの医療機関に入院したい」、20歳代は「介護付きの有料老人ホームなどを利用したい」が、その他の年代は「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」がそれぞれ続いている。

介護保険制度として力を入れるべきこと

問24 高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みとして、介護保険制度が導入されて10年が経ちますが、あなたは、介護保険制度として、どのようなことに力を入れるべきとお考えですか。(1つだけ)

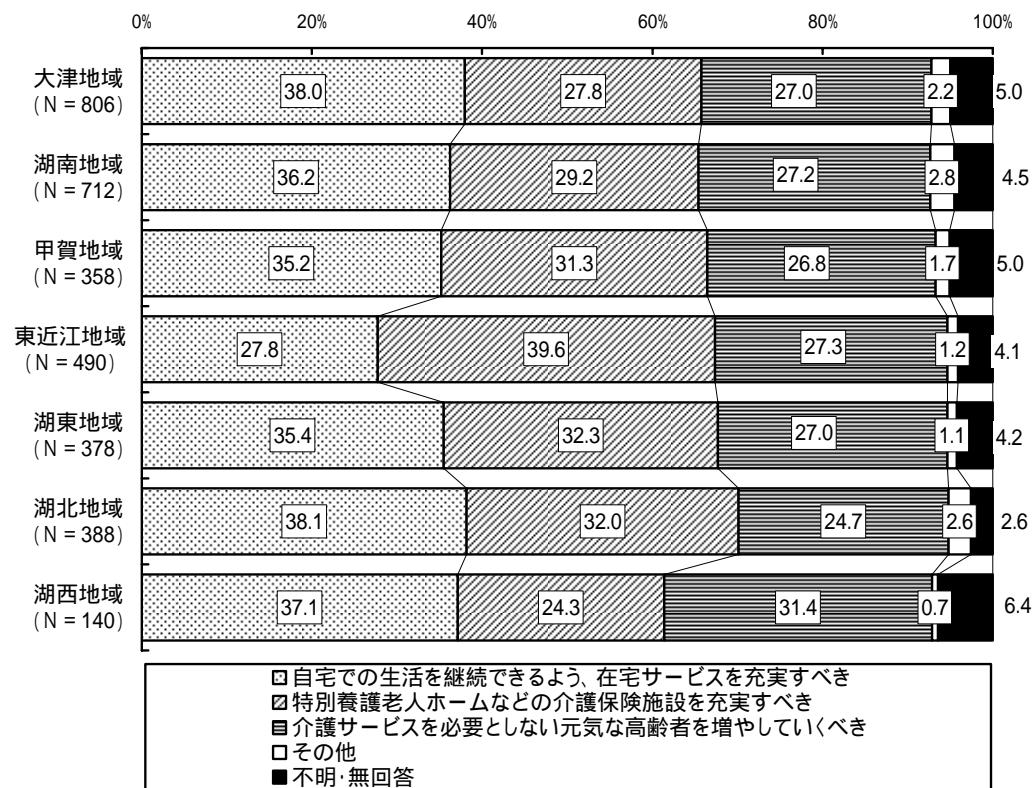
「自宅での生活を継続できるよう、在宅サービスを充実すべき」が35.5%

介護保険制度として力を入れるべきことについては、「自宅での生活を継続できるよう、在宅サービスを充実すべき」が35.5%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護保険施設を充実すべき」が31.1%、「介護サービスを必要としない元気な高齢者を増やしていくべき」が27.0%となっており、全体として大きな偏りはみられない。



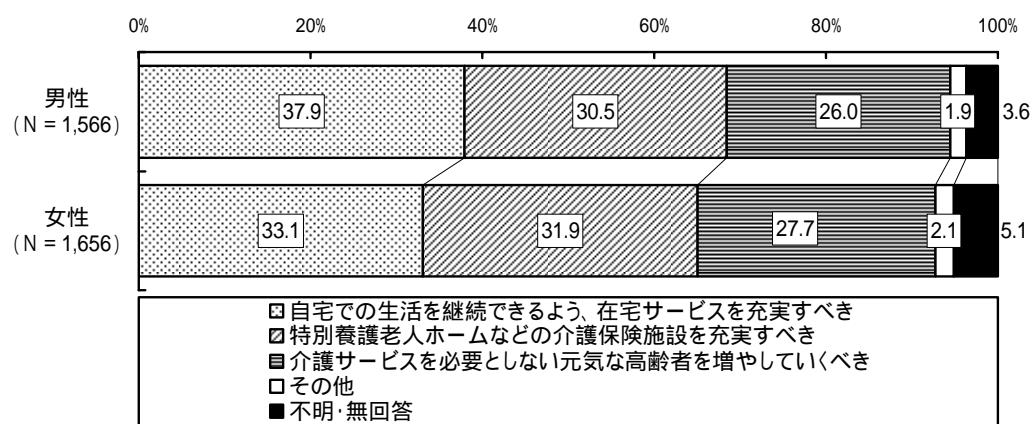
【地域別】

東近江地域は「特別養護老人ホームなどの介護保険施設を充実すべき」が39.6%と最も高く、その他の地域では「自宅での生活を継続できるよう、在宅サービスを充実すべき」が最も高くなっている。



【性別】

男女とも「自宅での生活を継続できるよう、在宅サービスを充実すべき」が最も高く、男性(37.9%)に比べ女性(33.1%)の方が4.8ポイント低くなっている。



【性・年代別】

男性では、20歳代は「介護サービスを必要としない元気な高齢者を増やしていくべき」が、その他の年代では「自宅での生活を継続できるよう、在宅サービスを充実すべき」が最も高くなっている。女性では、30~50歳代では「特別養護老人ホームなどの介護保険施設を充実すべき」、70歳以上では「自宅での生活を継続できるよう、在宅サービスを充実すべき」がそれぞれ最も高い。20歳代、60歳代では他の年代に比べ項目間に大きな差がみられず、偏りが少ない傾向がみられる。

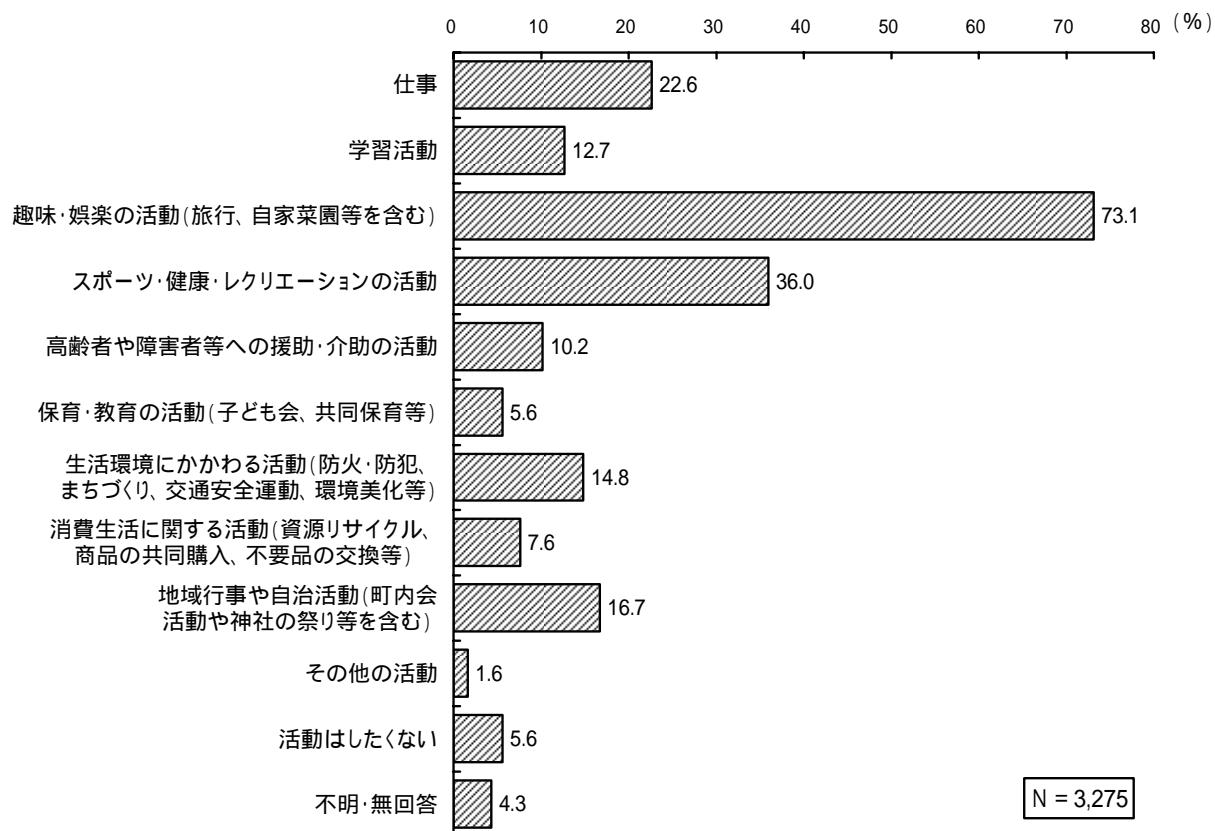
(3) 高齢期の活動

高齢期に取り組みたい活動

問 25 あなたは、高齢期にどのような活動に取り組みたいですか。現在高齢期の方は、今後取り組みたい活動をお答えください。（　は3つまで）

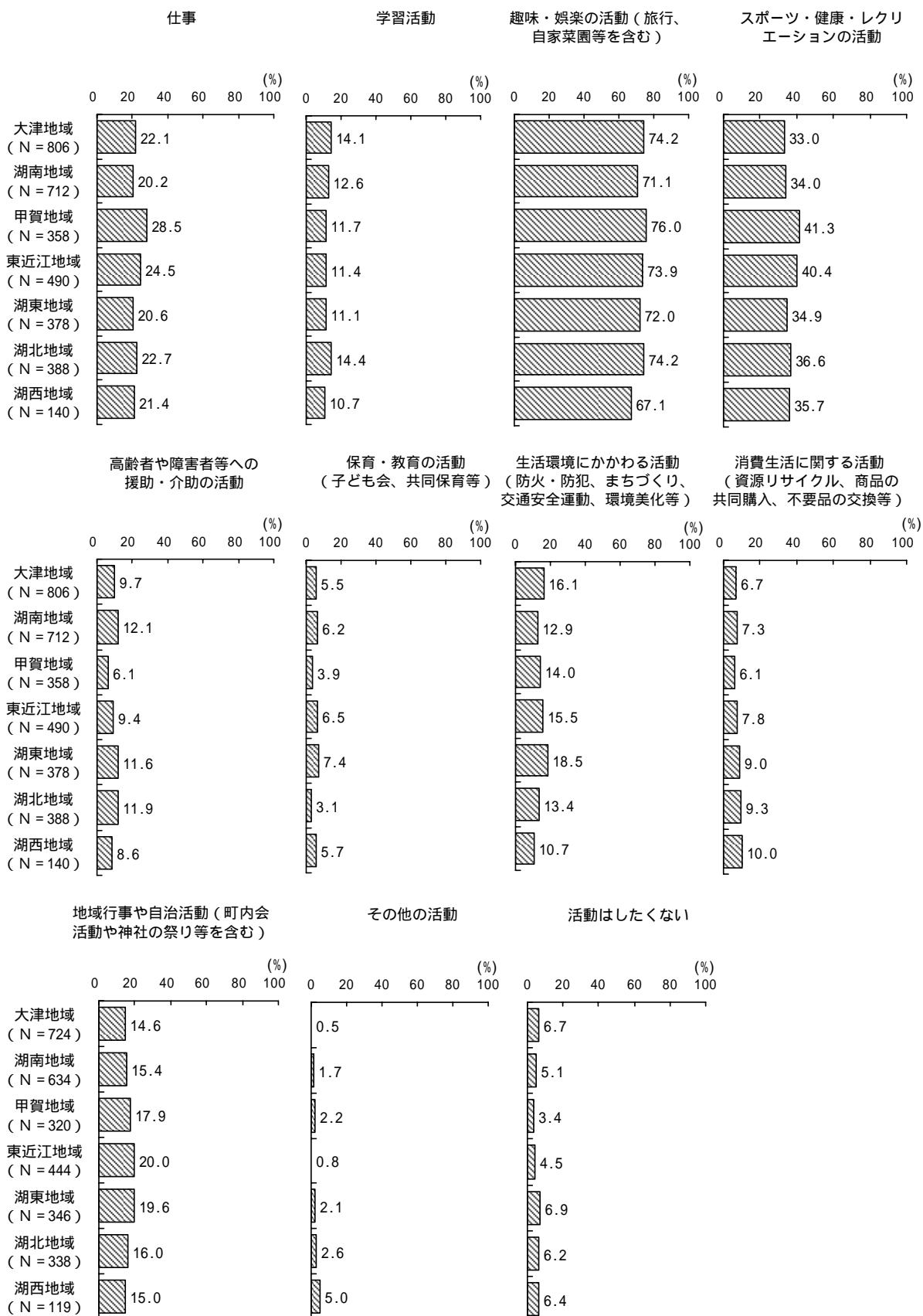
「趣味・娯楽の活動（旅行、自家菜園等を含む）」が 73.1%

高齢期に取り組みたい活動については、「趣味・娯楽の活動（旅行、自家菜園等を含む）」が 73.1% と最も高く、他の項目に比べ突出して高い。以下、「スポーツ・健康・レクリエーションの活動」(36.0%) 「仕事」(22.6%) 「地域行事や自治会活動（町内会活動や神社の祭り等を含む）」(16.7%) の順となっている。



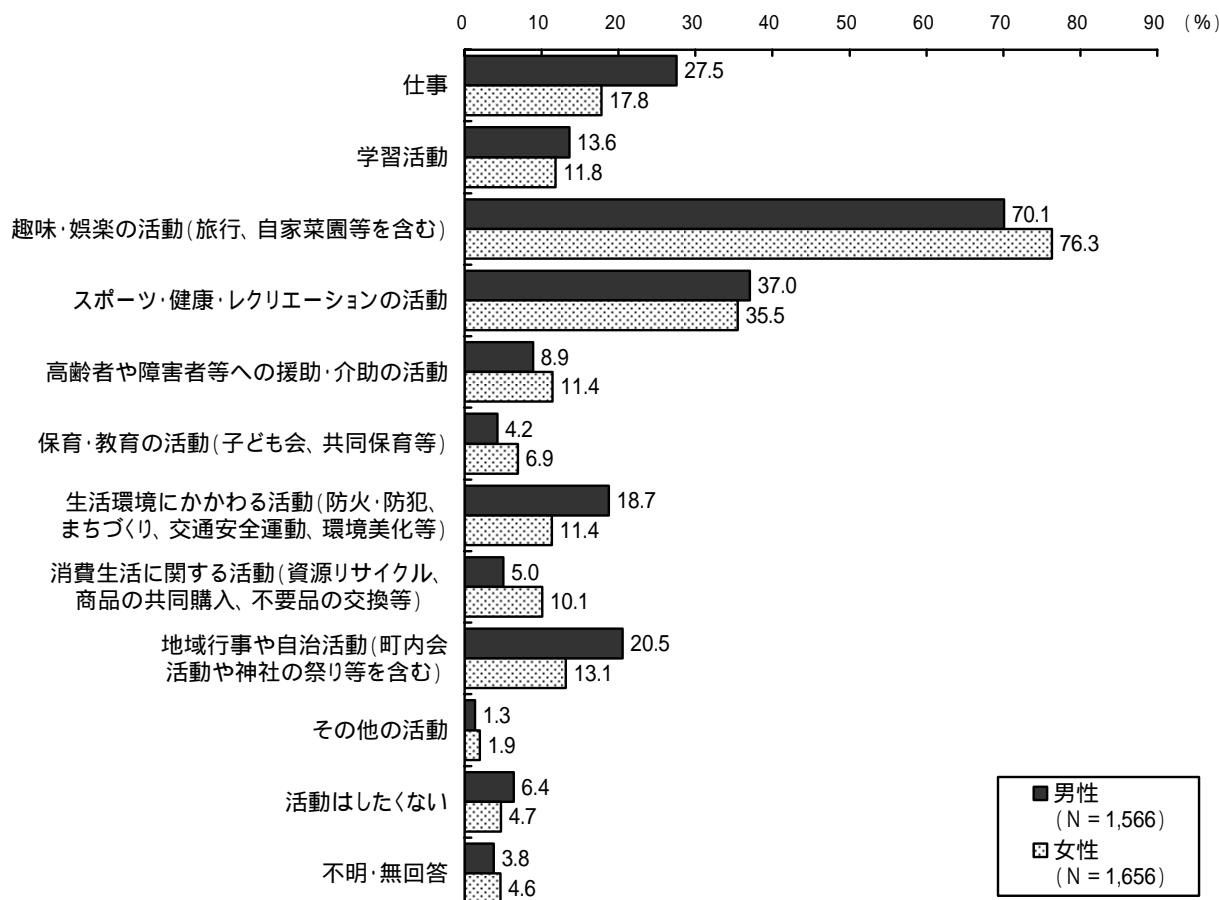
【地域別】

いずれの地域においても「趣味・娯楽の活動（旅行、自家菜園等を含む）」が最も高く、次いで「スポーツ・健康・レクリエーションの活動」が続いており、地域による大きな傾向の差はみられない。



【性別】

男女とも「趣味・娯楽の活動（旅行、自家菜園等を含む）」が最も高く、男性（70.1%）に比べ女性（76.3%）の方が6.2ポイント高くなっている。一方、男性の方が高いのは「仕事」（9.7ポイント）、「生活環境にかかわる活動（防火・防犯、まちづくり、交通安全活動、環境美化等）」（7.3ポイント）、「地域行事や自治活動（町内会活動や神社の祭り等を含む）」（7.4ポイント）となっている。



【性・年代別】

男女ともいずれの年代においても「趣味・娯楽の活動（旅行、自家菜園等を含む）」が最も高いが、70歳以上で他の年代に比べ低くなっている。「活動はしたくない」が他の年代に比べ比較的高い傾向がみられる。「趣味・娯楽の活動（旅行、自家菜園等を含む）」、「スポーツ・健康・レクリエーションの活動」では、男性が30歳代、女性が20歳代で他の年代に比べ高くなっている。